

風テラス

2024-2025

# 風テラス

2024-2025

- 01 この1年も、温かいご支援  
をありがとうございました
- 02 私たちの目指す社会
- 03 安心して話せる窓口
- 04 「相談できない」を変えたい
- 05 「誰にも話せなかった」  
を、分かち合う
- 06 現場の声を社会に還元する
- 07 メディア・雑誌掲載
- 08 啓発マンガ
- 09 クラウド  
ファンディング
- 10 財務会計報告
- 11 スタッフ・  
メンバーより

Special  
Thanks  
!

# この1年も、温かいご支援を ありがとうございました

01

- ボードメンバーからメッセージ -

私が風テラスの理事長に就任し、もう一年が経とうとしています。  
この一年を振り返るならばまさに怒涛の日々でした。  
事業設計、資金調達、広報、人事と初めてのことだらけです。  
それでもこうして皆さんにご挨拶ができるのは、私の足りないところを同じ志のもとに集まったスタッフが埋めてくれているからです。

さて、皆さんの職場ではどうでしょうか。あるいは家庭ではどうでしょうか。  
社会に目を向ければ、足りないところを補い合うより、人の粗を探し、叩き、不出来を笑い、そんな風潮があるように感じています。

**ですが、私たちは歪（いびつ）な存在です。  
その歪さごと受け入れなければ、きっと息苦しくなります。**

事実、「死にたい」という声が相談現場には日々届いています。  
風テラスは、誰もが今日の安心と明日の選択肢を得られる社会を実現するために日々活動しています。  
2025年から自殺対策事業にも乗り出しました。

**ありのままでいいと受け入れられる体験を相談現場は届けています。  
それは今日という日の安心に繋がり、明日を生きる勇気になるからです。**  
しかし、生きやすい社会を作るのは他でもない読者の皆さんです。  
ぜひこれからも私たちと一緒に温かい社会を作っていきましょう。



NPO法人風テラス 理事長  
徳田玲亜  
Reia Tokuda

**私たちのミッション「夜の世界で生きる人の今を受け止め、次につなげる」の先にあるのは、今よりも1mmでも生きやすい社会です。その実現こそが、私たち団体の存在意義だと考えています。**

医師として渋谷・五反田のクリニックで勤務していた頃、CSW（commercial sex worker＝性産業従事者）の方の診療に携わりました。派手な印象とは異なり、皆さんはごく普通の方で、自身の体を丁寧に管理されている印象が強く残っています。職業を知らされなければ、その直前に診察した風邪の患者さんと同じく見分けがつかない——この感覚が、私がこの団体に関わる原点です。

**CSWという属性は一側面に過ぎず、誰もがそれぞれ大切にしたい思いや価値観を持っています。**

個性あふれる才能豊かな仲間と共に、1mmでも住みやすい社会をつくっていききたい。  
そんな私たちの活動をこれからも応援していただければ幸いです。



理事  
松本卓  
Suguru Matsumoto

# 私たちの目指す社会

02

## ビジョン

だれもが「今日の安心」と「明日の選択肢」を得られる社会

## ミッション

夜の世界で生きる人の「今」を受けとめ、「次」につなげる

### 相談支援

LINEやメールの  
オンライン相談



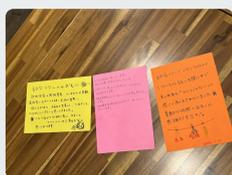
弁護士×SW  
通話・対面相談



LINEやメールで、いつでも、どこからでもつながれる相談窓口。一人ひとりの心に寄り添い、具体的な情報提供や法律相談も行います。

### 居場所づくり

オンライン・対面の  
自助グループ



当事者同士が安心して語り合える自助グループを運営。孤立しがちな仕事でもあるので、他者の声に耳を傾ける中で、「ひとりじゃない」と思える時間を育みながら、社会とつながるきっかけを提供しています。

### 研修・講演

支援者・行政職員  
向け研修



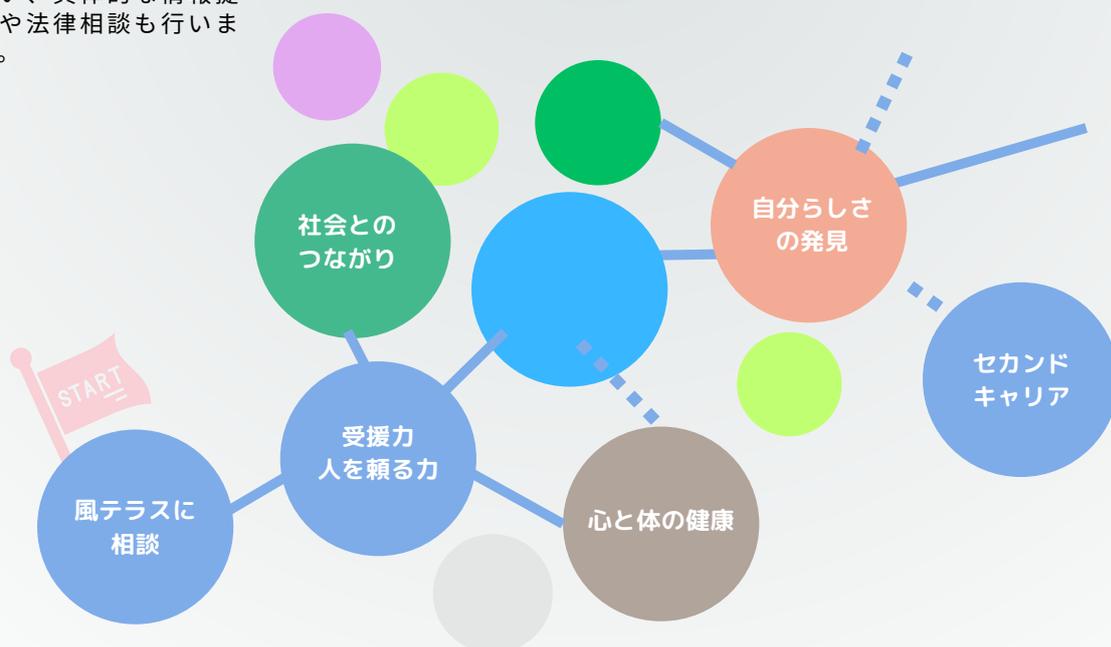
研修や講演会を通して、性風俗で働く人々が直面する課題への社会的理解を広げ、支援の輪を広げています。

### コンテンツ制作

啓発マンガ・コラム



SNS発信

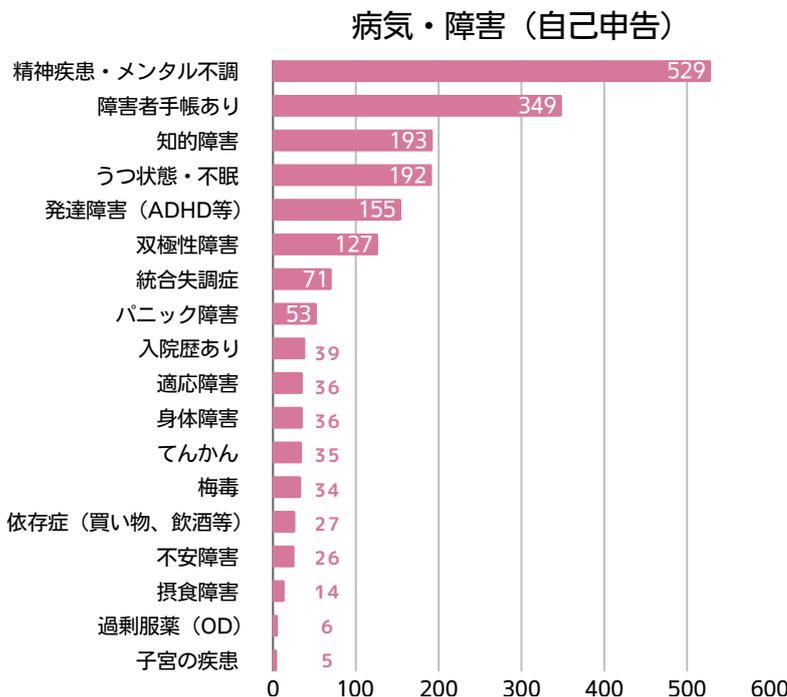
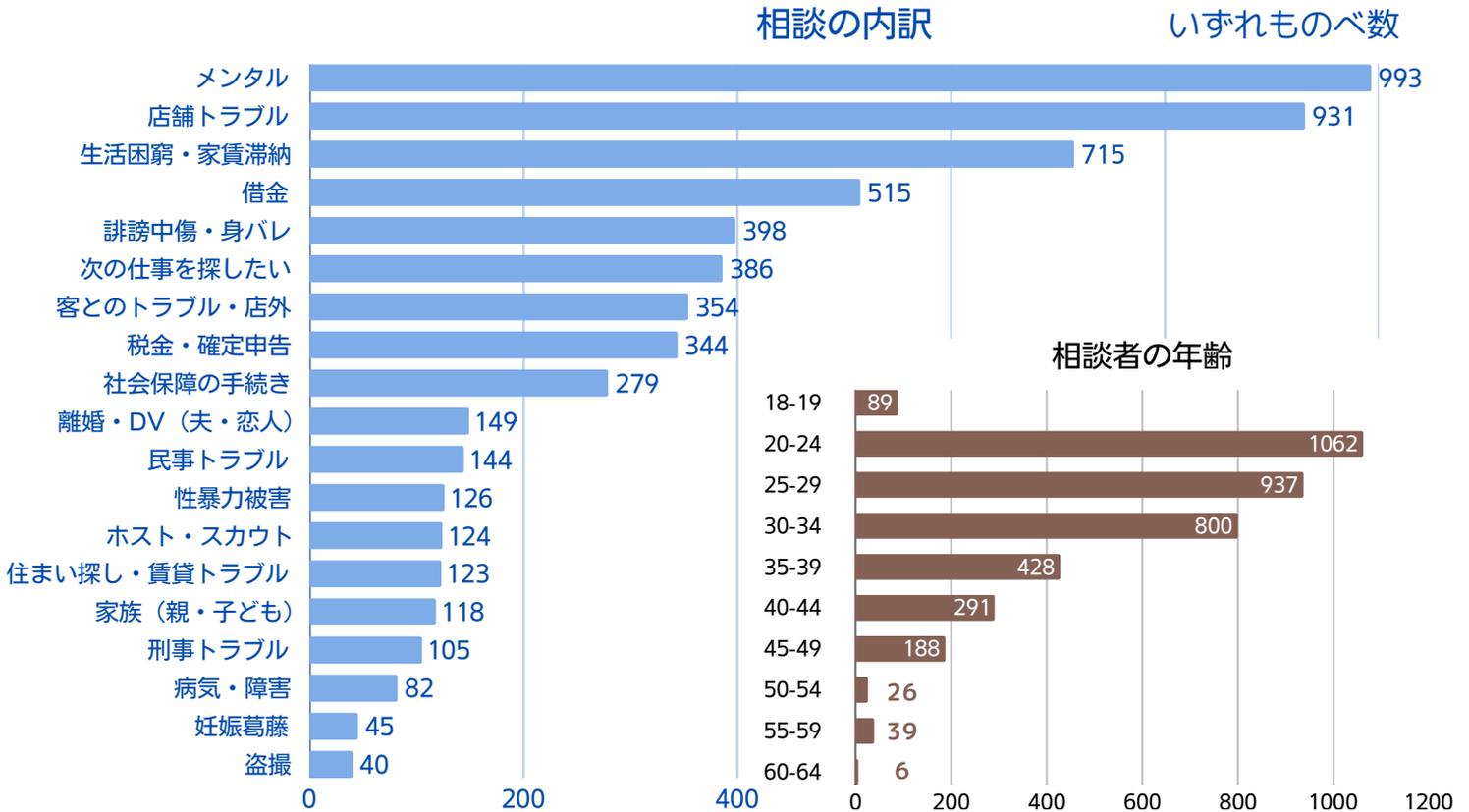


風テラスの活動の原点であり、最も重要な柱が相談事業です。

2024年は、LINEやメール相談などを通じて、のべ4,939件の相談が寄せられました。

寄せられる相談は、「お店を辞めたい」といった仕事に関する内容から、「誰にも頼れる人がいない」という孤独感、心身の健康や将来への不安まで、多岐にわたります。

私たちは、ただ解決策を提示するだけではありません。まずは安心して話せる機会の提供。そして、相談者自身が本来持っている力を取り戻し、自分の人生を再び歩き出せるよう、一人ひとりのペースに寄り添い、共に考えました。



※2024年の統計は1日に対応した方を件数で積算しています。そのためやりとりが継続する方は1日毎に1件とした数字になります。

# 「相談できない」を変えたい

-数字が意味するもの-

04

2024年、私たちの相談窓口には、**のべ4,939件**の相談が寄せられました。これは、新規・継続の方の区別なく、1日に対応した方々をそれぞれ1件と積み重ねてきた数字です。

「家族にバレませんか？」

「窓口で断られないか不安です」

「役所に行けました。アドバイスありがとうございました」

「以前、借金の件で相談しました。今度は別の悩みがあります」

チャット画面に飛び込んでくる言葉の数々。

問題解決を迫られ、風テラスにたどりついた人の中には、長期的な関わりが続く人もおり、その数は年々累積し、相談件数を押し上げています。

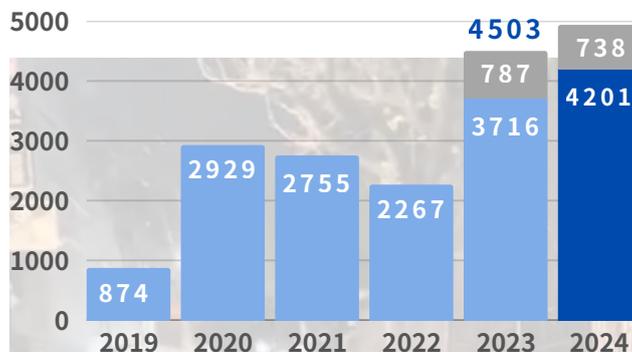
「風俗で働いていても相談できるから安心して」と、私たちは何度声をかけてきたでしょう。彼女たちを社会につなぐことを第一に、しかし、本人のペースを優先し、焦らせず見守り続けられるのがチャット相談の良さでもあります。そのメリットを生かしながら、相談者と向き合ってきました。

しかし、長年続けてきた支援の先に見えた、何度も困難を打ち明けてくれる相談者の姿は、むしろ社会側に彼女たちが安心して気持ちを吐露できる場所が少ないことを示しているようにも思うのです。

「相談できない」を変えたい

私たちは、私たちの窓口につながった一人一人が、私たちの手を離れたさらにその先でも安心して相談でき、受け入れられる社会を実現したい。もっといえば、風テラスに相談することなく、風俗で働く人々が当たり前を受け入れられる社会になってほしい。そんなことを考えながら、走り続けた一年でした。

年間相談件数の推移（累計）



※助成金活用・検索連動広告による相談件数



# 安心して話せる窓口

- 相談してくれた方々より -

05

## 最初に相談したのは2019年です。

風テラスのことは、ネットで「風俗 悩み」などと検索して知りました。それから、LINEや通話でも相談したし、対面相談会にも行ったし、風テラスの弁護士さんにもたくさん動いてもらいました。

人に言える職業ではないから、相談する時も、最初はどんな人が来るか心配でした。でも、弁護士さんもソーシャルワーカーさんもとても頼もしくて、「この人たちなら大丈夫だろう」という安心感があったし、私の憧れの人です。

以前、他の弁護士さんに相談した時はあまり話を聞いてもらえなかったけれど、ここでは否定せずに話を聞いてもらえたので安心してできました。包み隠さず話せる場所ができたのが良かったです。

風テラスでは就職についても相談でき、私は就労移行支援事業所を紹介してもらいました。

今は、自分で見つけた新しい仕事に就き、とてもやりがいを感じています。

仕事を通して人に感謝されることがすごく嬉しいです。

一つの仕事がこんなに長続きしたのも初めてです。

## 風俗は孤独だし、お金や精神面で悩むことは多いです。

同じお店で働く人とはライバルになるから話せません。

女性同士でおしゃべりができる場、オフ会のようなものがあればいいなとはずっと思っていました。

風テラスのことをまだ知らない人は多いはず。

**自分で相談先を見つけることが苦手・一歩踏み出せない人も多いと思うから、**

もっと身近に感じるところに風テラスがあれば良いな。40代・Mさん



## 約1年半、個人売春をしていました。

高校時代に複雑性PTSD、鬱、摂食障害と診断され、

**親との関係が悪く、学費や生活費を自分で賄う必要がありました。アルバイトで知り合った年上の男性との交際で金銭的援助を求められ、個人売春を続けていました。**

風俗店には身分証提示や罰金のリスクから在籍せず、親の扶養に入っていたため追跡されない収入として個人売春を選びました。

金銭的にいよいよ困窮し、「底つき」を感じて風テラスに相談しました。劣悪な客との経験もありました。風テラスでは医師とソーシャルワーカーがペアで対応し、「社会人になったら生活は楽になる」「お金で死んではいけない」と励まされました。

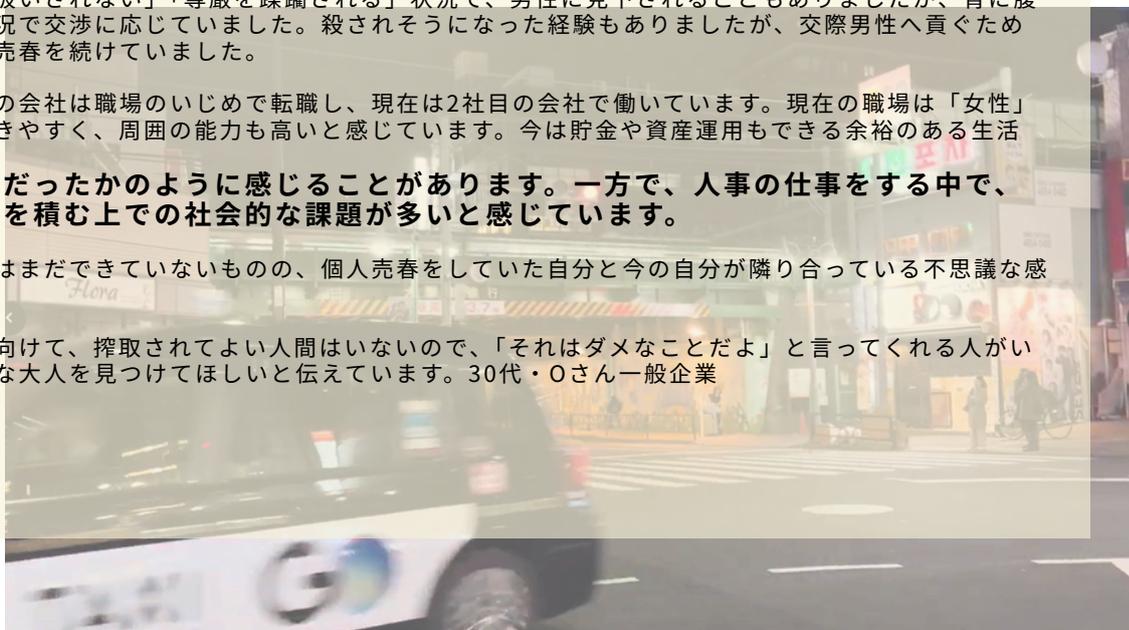
個人売春は「人間扱いはされない」「尊厳を蹂躪される」状況で、男性に見下されることもありましたが、背に腹は代えられない状況で交渉に応じていました。殺されそうになった経験もありましたが、交際男性へ貢ぐために大学院卒業まで売春を続けていました。

新卒で入った最初の会社は職場のいじめで転職し、現在は2社目の会社で働いています。現在の職場は「女性」として見られず働きやすく、周囲の能力も高いと感じています。今は貯金や資産運用もできる余裕のある生活で、

**当時の自分が幻だったかのように感じるがあります。一方で、人事の仕事をする中で、女性がキャリアを積む上での社会的な課題が多いと感じています。**

過去の経験の整理はまだできていないものの、個人売春をしていた自分と今の自分が隣り合っている不思議な感覚があります。

渦中にいる方々に向けて、搾取されてよい人間はいないので、「それはダメなことだよ」と言ってくれる人がいてほしい。まともな大人を見つけてほしいと伝えています。30代・Oさん一般企業



# 「だれにも話せなかった」を、06 分かち合う

- 自助グループ活動報告 -

参加者が安心安全にプライベートな事や自分の気持ちを語り合えるオンラインのしゃべり場「女の子たちの60分フリー」。この名称は、「自分のために60分間を大切に使ってほしい」という思いが込められています。

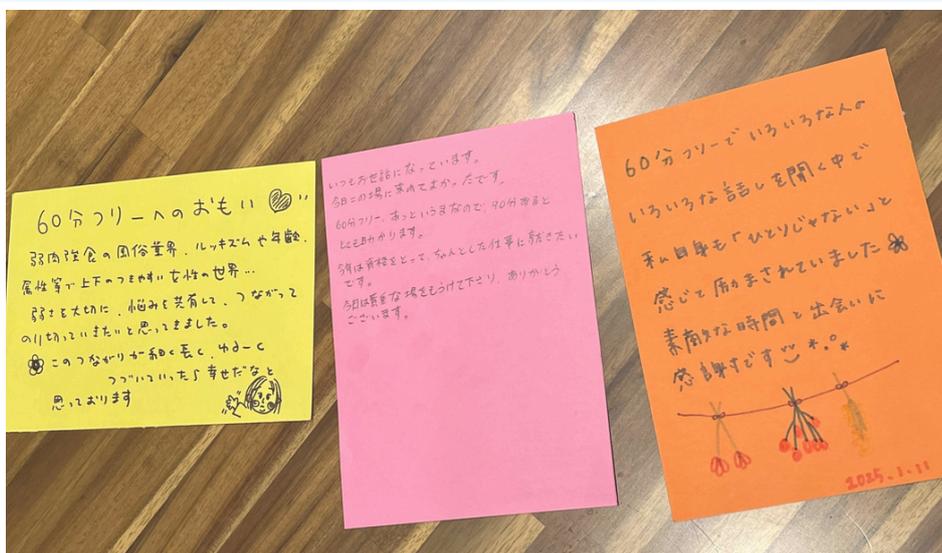
3年目となったこの場では、参加者の「言葉にならない思い」がそっと語られた瞬間に立ち会うこともあり、同じ経験をもつ人同士が安心してつながれる場の尊さを、深く実感しています。

そして、2025年1月と2月には初めて対面での開催をすることができました。

参加した人がホッとでき、肩の荷を下ろし、また参加したいと思える場になるよう、関わるスタッフ同士もコミュニケーションを重ね、参加者と一緒に変化しつづける活動です。

## 全12回 のべ46人

### LINE ミーティング



▲対面開催の会で、参加者さんがメッセージを寄せてくれました

#### 【開催実績】

全12回 開催

(オンライン：10回 / 対面：2回)

#### 【参加者数】

延べ 80人申込み (参加者46人、不参加34人)

#### 【参加者の属性】

相談歴のある20代～50代の風俗従事経験者

#### 【実施方法】

ツール：LINEミーティング

- ・参加者とルール（否定・批判しない／外部に共有しない等）を確認
- ・話しづらさのある参加者には、ファシリテーターが対話を支援
- ・問題解決よりも共感・分かち合いを重視し、エンパワメントを意識
- ・必要に応じて相談LINEを案内し、相談チームへも了承を得て共有

#### 【場の効果】

- ・他者に話をする事で自身の気持ちや現状が言語化され、自分を客観視することにつながる
- ・同じような環境にいる当事者からの共感はず “自分だけじゃない” という孤立感の防止につながっている



私は別の自助会にも通っていますが、自分の職業のことは伏せているため、本音をすべて共有できていない感覚がありました。

今回の集まりでは普段誰にも話せないことを話せて気持ちが少し楽になりました。

えりかさん

「女の子たちの60分フリー」の詳しい日程や参加方法については、**ウェブサイトをご覧ください。**



女の子たちの60分フリー @オンライン

令和7年3月1日(土)  
20:00～21:00 開催!



# 現場の声を社会に還元する

07

## - 講演・研修実績 -

性風俗で働く方の課題の背景には、社会側の理解の少なさや偏見が一定存在します。私たちは、相談者が発する不安や葛藤、リアルな声を社会に届け、支援の輪を広げるため、行政、福祉、医療、教育など、様々な分野で講演や研修を行ってきました。

2024年度は、より実践的なグループワークを取り入れ、参加者一人一人が自分の持つ性への価値観や戸惑いが、支援に影響していることへの気付きを持ってもらうことを目的としました。風俗で働く是非ではなく、自分の価値観を脇に置いて本人の声に耳を傾ける、そのことの大切さをこれからも一人でも多くの方々と共有していきたいと考えています。

2024/7/17 川崎市社会福祉協議会

2024/9/12 にんしんSOSいわて（アドバンス編）

2024/11/9 岡山市配偶者暴力被害者支援研修会

2025/2/12 一般財団法人「浩志会」

### <その他>

新潟県 女性支援新法に関する支援調整会議・代表者会議  
厚労省・東京都・東京都台東区・さいたま市・新潟市・法務省矯正局、意見交換などありがとうございました。



## 【研修参加者の声】

風俗で働く女性について、着眼点をおいて学べる機会がなかったため、知識として深まりました。

なるほど確かに、おっしゃる通りの内容で、十分に価値ある内容でした。子供たちの今後の事に直結することでしたので、さらに学んでいかないといけないと思いました。

グループワークで、様々な方の意見を聴くことができ、学びを深めることができました。



### 講演・研修のご依頼

皆さまの抱える課題を踏まえて講義内容や登壇者を提案しています。性風俗や夜職で働く方の抱える不安や悩み、困難やトラブルを解説し、当事者に寄り添う支援と一緒に考えるグループワーク等の研修プログラムも提供をしています。

お問い合わせは [contact@futures.org](mailto:contact@futures.org)

ホームページの「お問い合わせ」よりご連絡もできます。



## 2024

- 日本弁護士連合会の機関雑誌「自由と正義」（2024年4月号）巻頭コラム「日影に風を～風テラス～」掲載
- 東京の夜の街をテーマにしたフランス民放放送局・M6（エムシス）のドキュメンタリー番組「ENQUETE EXCLUSIVE」にホスト問題で取材協力（4月、現地放送）
- 共同通信「売掛金返済で売春、借金 相談多数、取り締まり強化」にコメント（4/20配信）
- 朝日新聞「ひと」欄、副理事長の徳田玲亜が紹介（6/11朝刊）
- 行政向け実務情報誌『月刊ガバナンス』（2024年8月号）「風俗で働く若年女性へのデジタルアウトリーチ事業」の成果を寄稿
- 海外向けラジオ番組「NHK WORLD」ホストの売掛トラブルについての背景と対策についてゲスト解説（8/21放送）
- 専門誌『社会福祉研究』（2024年8月号）論文「性風俗の世界で孤立・困窮している女性への支援」掲載



▲仏テレビ局のクルーと



▲アムネスティからの取材風景

## 2025

- ◆ 毎日新聞デジタル版、風テラスのクラウドファンディング掲載（3/1配信）
- ◆ 国際人権NGO「アムネスティインターナショナル」の雑誌（2025年3月号）、ホスト依存の問題などで取材協力

## 啓発マンガ

### 2024年度の新作



### 啓発マンガ冊子を発送します

2020年から発行する啓発マンガ「あしたの嬢」では、生活困窮、借金、性暴力、離婚、SNSの誹謗中傷など、夜職女性が抱えやすいトラブルについて、解決策や対処法を解説しています。1話4ページの読みやすい内容を目指して作成しています。作画は「リアル風俗嬢日記」などを手がける漫画家のOmegaさんです。第1～18話までをまとめた冊子のお問い合わせは、[contact@futures.org](mailto:contact@futures.org) まで。ホームページでは全話無料で閲覧できます。



# クラウドファンディング

-相談事業に300万円以上ご支援いただきました-

09

2025年2~3月、法人化後、初めてとなるクラウドファンディングに挑戦しました。2024年も延べ4,000人を超える性風俗従事者からの相談が寄せられ、中核となる相談窓口の維持継続を求めて、クラファンによる資金調達を決断しました。

社会福祉士や弁護士による専門的で実践型のSNS相談対応、多職種協働によるチームワーク、厳格な事務サポートなど、私たちの組織運営には一定の費用もかかります。

クラファンのためのページ作りにはじまり、友人知人への声かけ、広報、作業の多くが初めての事でしたが、「社会に風俗の世界に集積した課題をどのように伝えていけるのか」——を考え、たくさんのメンバーが知恵と力と勇気を出し合い、45日間を駆け抜けました。一人でも多くの方に適切な支援を届ける続けるため、この大きなアクションに賛同いただき、本当にありがとうございました。

目標金額：3,000,000円 ご支援総額：3,428,000円（達成率114%）  
ご支援者数：248人（2025年2月7日~3月23日実施）

## -連携先からの応援-



【Special Thanks】（応援・イベント協力）  
レスキューハブ・坂本新さん、ソウレッジ・鶴田七瀬さん、就労移行支援事業所アルファ王子・花輪岳史さん、認定NPO法人D×Pさん

## -ご寄付してくださった方の声より-

日本の、光が照らされない社会課題に、真摯に取り組まれていることに、子を持つ親としても感謝します。未来の子供達や女性がこの負のサイクルから抜けられるよう、私も何かしらお力になりたいです。

風テラスさんに相談して本当によかったです。これからも活動を継続していただけるよう応援しております！

ひとりじゃないよがんばらなくていいやれるだけでいいきっと大丈夫

最も困ってこの仕事につき、さらに困る。この悪循環を絶ちきることに賛同します。

利用する立場として女性たちには本当に感謝していますが時に私達が彼女たちの苦しみの原因になっているのかもしれないという思いがあり罪滅ぼしではないですが支援させて頂きたいと思いました

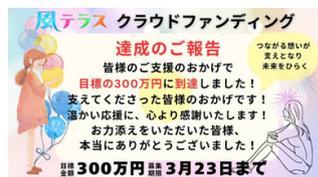
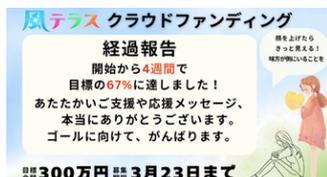
性風俗で働く方へどうか、1人で抱えないで下さい心と体を癒す権利が、皆様にはあると思います。えらそうに、すみません。誰もが、幸せになれる権利はある。えらそうに、すみません。皆様の人生を、密かに、ずっと、ずっと、ずっと、祈っています。

## 多様な立場の方からの応援、課題はまだ手元にある

振り返ってみると、今回のクラファンは単に資金調達を目指すだけでなく、私たちのもともと日々多くの相談が寄せられている現状や背景を、一人でも多くの方に知っていただく機会にもなりました。

寄せられた応援メッセージからは、多様な立場の方々が私たちが稀有な存在として支援をしてくださっていることが伝わりました。今回のクラファンでは、皆さんからの温かい支援によって活動の意義を実感するとともに、自分たちの手元にとどまったままの課題なのではないかと教えてくれたように思います。

皆さまからの大きな支援に感謝し、私たちの目指す道を照らす機会となったことを心よりお礼申し上げます。

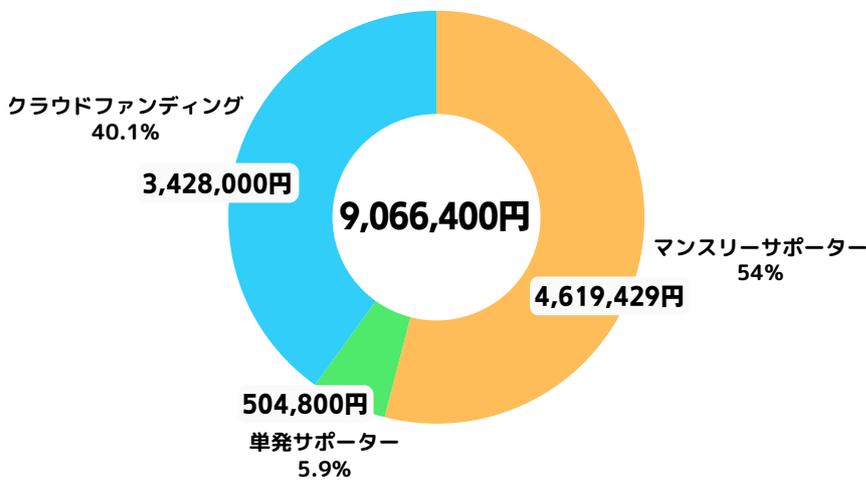


クラファン用のサムネイルはプロポスタッフが作成しました！下を向いていた女性がだんだんと・・・

# 財務会計報告

	科目		2024年度実績
経常収益	受取会費	正会員会費	160,000
	受取寄付金	マンスリーサポーター・単発寄付	9,066,400
	受取助成金等	女性リーダー支援基金活動奨励金	1,000,000
	事業収益	研修講演登壇費等	379,360
	受託事業収益	新潟県女性支援の実態調査受託	1,749,000
	その他収益	利息・雑収入	12,706
		経常収益 計	
経常費用	事業費	性風俗で働く人の法律・生活相談事業	9,745,879
		性風俗で働く人への食料支援事業	1,298
		性風俗で働く人への講座・イベント事業	8,356
		性風俗で働く人への情報発信・啓発事業	144,202
		支援者への講座・イベント事業	775,142
		社会への情報発信・啓発事業	1,424,935
	管理部門		1,479,891
	経常費用 計		<b>13,579,703</b>
当期経常増減			-1,212,237
法人税、住民税及び事業税			<b>0</b>
当期正味財産増減			<b>-1,212,237</b>
前期繰越正味財産額			<b>11,198,565</b>
次期繰越正味財産額			<b>9,986,328</b>

## 2024年度の寄付収入内訳



## 団体概要

理事長	徳田玲亜 (弁護士)	
副理事長	中島満香	
役員	理事	橋本久美子 (精神保健福祉士)
	理事	松本卓 (医師)
	監事	鈴木晶子 (臨床心理士)
アドバイザー		三上早紀 (弁護士)
		鈴木愛子 (弁護士)
住所	〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1丁目9-1 グランド東邦ビル1F	
コミットメンバー	事務局スタッフ3人 相談員スタッフ8人 プロボノ・インターン9人	

2025年9月現在

# スタッフ・メンバーより

私たちはプロボノ・インターン、有給スタッフが一緒になって活動しています  
関わってくれたメンバーの声を紹介します



## 石さん

プロボノ

この1年、プロボノとして、実態調査の入力サポート、助成金申請の支援、クラウドファンディングの進捗管理、オンラインイベントの運営などに携わらせていただきました。

メンバーの皆さんが、それぞれの専門性や得意なことを発揮しあってプロジェクトを前に進めることができ、私にとっても大いに学びがありました。またその過程で、風テラスのこれまでを振り返ったり、今後の模索についての議論もあり、自分たちで団体や事業を育てるってこういうことなんだと、団体の中に入ったからこそこの気づきもありました。

そうした議論やつぶやきから出たアイデアを育てて実現に向かっていけるよう、私も貢献していきたいと思います。



## mimiさん

風テラス相談員

チャット相談の対応や、自助グループ「女の子たちの60分フリー」の運営に携わらせていただいています。日々の相談では、孤立や不安のなかで助けを求める声が寄せられ、言葉ひとつで誰かの心が少し軽くなることを、何度も教えられました。自助グループでは、言葉にならない思いがそっと語られた瞬間に立ち会うこともあり、同じ経験をもつ人同士が安心してつながれる場の尊さを、深く実感しています。

さまざまなスタッフのお知恵を借りながら、より良い場づくりを模索する日々は、私自身にとっても学びの連続です。

進化し続ける風テラスの活動に関われること、そしてその学びを普段の仕事にも活かせることに、心からのやりがいと感謝を感じています。



## ナミさん

風テラス事務局

2021年のコロナ禍、最初はボランティアとして活動に参加しました。相談現場や食料支援のサポートをする中で、「なぜ一人で抱えて苦しむ人が多いのか」と感じ、相談員の誠心誠意の声かけに心を揺さぶられ、「この支援を一人でも多くの方に届けたい」と活動を広げてきました。団体の認知も少しずつですが、着実に広がっているので、一人でも多くの社会の人々とともに手を取り合えることをこれからも考えていきたいと思っています。



## やまさん

プロボノ

多様な分野で様々な経験を積んだメンバーとともに「風俗の世界で困難を抱えた女性の支援」という同じ目標に向かい、広報活動など、いろいろなチャレンジを経験しています。

ここでの学びは「自分にも何かできるのではないかと考えるきっかけをくれました。これからも相談者が抱える様々な課題の解決、そしてその背景にある差別や偏見などへの挑戦に、少しでも貢献できればと思っています。



## ちーちゃん

プロボノ

自助グループ「女の子たちの60分フリー」と、毎月の活動報告記事の作成に携わりました。

活動に参加する中で、風俗で働く女性達の言葉に同じ女性として共感することが何度もありました。風テラスの働きを通して、誰もが前向きに毎日を過ごせる社会が広がっていくことを願っています。



## 諒子さん

インターン

風テラスでのインターンを通じて、NPO運営の幅広い業務を経験し、多くを学びました。主に担当したのはSNS運営です。皆さんから助言を受けながら、多くの人にわかりやすく伝わる表現方法を試行錯誤しました。

ほかにも海外メディアの取材では、通訳と連絡役を務め、インタビューが円滑に進むようサポートしました。国際的な視点で風テラスの活動を発信できたことが大きな達成感につながりました。

様々なバックグラウンドを持っているメンバーと同じ環境で活動ができ、貴重な経験をさせていただいています。風テラスで得た経験と学びを糧に、モチベーションを失わずに法科大学院での勉学にも励むことができています。

# Special Thanks!



風俗だから  
助けを求めにくい  
現状を変えたい  
**目標達成しました!**

目標金額 **300万円**  
募集期限 **3月23日**

相談することを、あきらめないでほしい。  
弁護士とソーシャルワーカーによる  
相談体制の拡充にご支援ください。

ネクストゴール **400万円**

パブリックリソース財団  
女性リーダー

ETIC.マネジャー育成支援

マンスリーサポーター、  
単発ご寄付の皆さま

クラウドファンディング  
ご支援くださった皆さま

プロボノインターン、  
アドバイザーの皆さま

## 支援を募っています

風テラスの相談の現場では、「誰にも言えなかった。はじめて自分のことを話した」と泣き出してしまう方が少なくありません。そのたびに、なぜ社会の誰もその人の苦しみに気づき、手を差し伸べられなかったのか、抱えてきた深い孤独を感じるとともに、風テラスに相談してくれた勇気ある一歩に胸を打たれます。

情報があふれ、モノがあふれる時代の中で、孤独や困難、貧しさに押しつぶされまいと必死に性風俗の世界で生きている人がいます。見えづらい性風俗で働く女性の一人一人が抱える困難を誰もが分け合える希望ある未来を望みます。ですが、今はまだ私たちの相談窓口が必要です。

多くの声を受けとめ、その声を社会に届けていくための活動へご支援をお願いします。

### 月額サポーター

毎月の寄付を通して風テラスの活動を応援できる「ふ～サポ」メンバーを募集しています。READYFOR等で受付中です。



### 単発寄付

お気持ちをまとめた金額でご支援してくださる単発のご寄付も歓迎です。congrantからはカード決済でもご支援いただけます。

特定非営利活動法人風テラス  
2024年度活動報告書

info@futas.org

Email

<https://futas.org/>



Website

編集・文責 米盛菜美

## 銀行振込でのご支援

●GMOあおぞらネット銀行 支店名：法人営業部（101）  
普通預金 口座番号 1906032 トクヒ）フウテラス

●ゆうちょ銀行 店名 一二八（イチニハチ）店番 128  
普通預金 口座番号 4342474 トクヒ）フウテラス

\*ゆうちょ銀行間の送金の場合 記号 11290 番号 43424741

# 付録

-日弁連機関誌「自由と正義」2024年4月号巻頭コラム「ひと筆」-

## ひと筆

### 日影に風を～風テラス～



埼玉弁護士会会員

徳田 玲亜

Tokuda, Reia

#### 1 日本で一番風俗嬢に会っている弁護士

この名誉なのか不名誉なのかかわからない称号が私にはついているようだ。風俗界隈の人にこう呼ばれたのは1年ほど前の話である。念のため補足するがヘビーユーザーという意味ではない。

私が弁護士になって1年も経たない頃、ひょんなことから参画したデリヘル店の待機部屋での法律生活相談会は、思いがけず世間の耳目を集め、少ない予算と少ない人員で細々と活動を続けることになった。2015年のことである。企画したのは一般社団法人ホワイトハンズ<sup>1)</sup>であり、それほど知名度がなかったことと、この相談事業に元法テラススタッフ弁護士がいたこともあって、法テラスをもじった「風テラス」という名が付けられた。

流れが大きく変わったのは2020年。新型コロナが押し寄せた同年4月にはそれまでの1年分の相談（約800件）が1か月で押し寄せる事態となり、一気に知名度を上げた。前出団体の一事業だった風テラスは、成長を続け、2022年にその名を冠してNPO法人化<sup>2)</sup>を果たし、古株だったという理由だけで私は副理事長に就任した。

コロナ禍で都内にあった相談室は閉鎖を余儀なくされ、現在はオンライン相談が中心となっているため、厳密には相談者と会っているわけではないが、私が受けている相談は年間100件を優に超えている。

相談は必ず弁護士とソーシャルワーカーとのペアで行われる。性風俗従事者は、性風俗業界で働いているというスティグマにより相談窓口に行けず、たどり着いたときには困難が多重化していることも多いことから、事業開始以来このスタイルを貫いてきた。相談内容に制限がないため、寄せられる相談は、キャリア相談から職場の愚痴に至るまで多岐にわたる。ちなみに、当初は軽い気持ちで副理事長となったものの、いわば第2創業期に当たる現在、インターンの採用面接から助成金応募

1) 全ての人が人間らしく生きるために必要な性の健康と権利を享受できる社会の実現を目指して2008年から活動してきた団体。

2) 風テラスの詳細はこちら→<https://futerass.org/>

日弁連より転載許可を得て掲載しています。無断転載禁止

## ひと筆

書類のチェック、寄付集めのための広報活動と私の業務も多岐にわたる。「風俗嬢あるある」から、時には「エロさとは何か?」を真剣に議論することもあり、もしかしたら私はそこのヘビーユーザーよりも性風俗業界を知る人となったのかもしれない。

### 2 熱意の向く先

さて、よく「どうしてこの活動をしているのか?」と尋ねられるが、もともと私は女性支援に興味があったわけでもなければ、売買春や人身売買に興味があったわけでもない。答えは「偶然」としか言いようがない<sup>3)</sup>。ただ、相談の現場に入ってみて、特段の思い入れがなかったことが、かえってよかったと思っている。

性風俗で働いているという、そこから救い出してあげなければと妙な熱意を持った人に出会うことがしばしばある。いや、熱意があるのはいいことだ。しかし、落ち着いて欲しい。その人は性風俗から抜け出したいと言っただろうか。

私たちの相談現場には、尊厳を傷つけられた相談者が多く訪れる。それは小さなホテルの一室でもなければ、客によってでもない。意識・無意識に人々が性風俗に対して抱く偏見や差別に基づく言動・まなざしによってである。いったい何度「風俗なんてやめなさいと言われた」という話を耳にしたことか。行政の窓口職員や弁護士による発言である。

やめてどうするというのか。

「自分が十分な教育を受けられずに苦労したから子どもには良い教育を受けさせたい」。そう言って女性一人で私学の学費や塾代や習い事代を工面する人に生活保護を勧められるだろうか。その姿に払われるべきは敬意であると私は思う。この日本で女性が性風俗で得ている収入と同等もしくはそれ以上の稼ぎを得ることがどれほど大変なことか。

そうした現実を目の前にして、相談員に求められていることは、ただフラットに相談者の話に耳を傾け、相談者の選択を大事にすることである。性風俗で働いていることを否定も肯定もしない。これを団体の共通理解として徹底してきた。

### 3 豊かさとは社会の帯びる色彩

それでもこの活動に虚しさを覚えなさいと言われれば、答えは否だろう。この原稿を書いている2023年現在、性風俗従事者は45万人を超えたと言われる。警察に届け出られている風俗店の在籍女性の数をもとに風俗専門情報サイトが集計をしているので、あながち間違った数字ではないだろう。これは女性の労働人口の1%以上

3) なお、当団体の代表坂爪と私との出会いが知りたい方はぜひ、坂爪真吾『性風俗のいびつな現場』（筑摩書房、2016年）を読んでいただきたい。

日弁連より転載許可を得て掲載しています。無断転載禁止

## ひと筆

がこの業界で働いていることを示している。残念ながらコロナ禍を経て、性風俗従事者の数は増加の一途をたどっているのだ。そして、同年の風テラスの相談件数は、ついに4500件を超えた<sup>4)</sup>。

どれだけ多くの相談に乗ろうとも社会はちっとも良くならない気がして、私は絶望すら覚える。同時にこんな社会を変えたいとも思う。ちなみに変えたいのは性風俗業界ではないことは念を押したい。この業界の行く末を決めるのは弁護士でもNPOでもなく当事者だと思うからだ。

性風俗業界で働く人が理不尽に傷つかないように。必要な時に司法や福祉にアクセスできるように。私たちは活動している。そして、これは個人的に思うことだが、願わくばグレーなものをグレーと認めて楽しめる寛容な社会であって欲しい。

でも、社会を変えるなんてことは、当然一人にできることではない。相変わらず人もいなくて、お金もない風テラスという小さな組織だけでできる気もしない。

#### 4 頼れる誰かがいることの意味

だからこれを読んでいる方たちへ。ぜひ力を貸して欲しい<sup>5)</sup>。

これまでも全国から寄せられる相談者に各地の弁護士を繋いできた。残念ながら連絡すらままならず、解決には至らなかったことも多かったようであり、それはこの先も変わらないだろう。それでも風テラスに理解を示し、協力してくれた弁護士の存在に彼女たちが救われたと私は信じている。

私たちは、これからも性風俗というピンクでグレーで決して光を浴びることのない領域の周辺で、実は性風俗が社会と地続きの世界であると小さな声をあげながら活動を続けていく。

この密やかな活動に共感し、一緒にこの活動を支え、やがては社会を変える一員が増えることを期待して筆をおきたいと思う。

4) これまでの相談データ・支援活動について知りたい方は、坂爪真吾『性風俗サバイバル 夜の世界の緊急事態』（筑摩書房、2021年）、弁護士とソーシャルワーカーの協働を考える会編著『福祉的アプローチで取り組む弁護士実務』（第一法規、2020年）をぜひ読んでいただきたい。

5) 風テラスでは、様々なサポーターを募集している。  
<https://futerass.org/donation/>